

授業科目 地域・在宅看護方法論Ⅱ	担当講師名	単位数 2	時間数 45	履修年次・前 / 後
	専任教員名			2年次/前期
講義のねらい	1 在宅看護に必要な基本技術を理解できる。 2 在宅看護における日常生活援助技術が理解できる。			
授業形態	講義・演習		担当及び時間	
講義内容	1 訪問看護の基本技術 1) 訪問看護の実際 (1) 訪問看護援助の基本 2) 対象との援助関係の基本(演習を含む) (1) 訪問看護技術 (2) 面接技術 (3) 介護指導技術 (4) 多職種連携・調整技術 2 訪問看護の実際 1) 訪問看護の準備 (1) 訪問看護開始するまでの準備 2) 訪問の実際 (1) 訪問時の対応 (2) 初回訪問のプロセス (3) 訪問看護後の整理		18	
	3) 訪問看護の日常生活援助 (1) 環境の調整 (2) 食生活と栄養管理 (3) 清潔・衣生活 (4) 排泄 (5) 服薬管理 (6) 在宅療養者への教育と指導(療養者本人・家族への介護指導)		16	
	(7) 移動・活動、休息		8	
	3 災害時における訪問看護ステーションの活動の実際 1) 災害対策と災害時の対応 2) 災害対策マニュアルの作成 3) 心のケア 4) ボランティア活動		3	
教科書	地域・在宅看護論の基盤(1) (医学書院) 地域・在宅看護論の実際(2) (医学書院)			
参考文献	3 地域療養を支えるケア(メディカ出版) 3 必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	終講試験 100点			
備考欄	教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する。			